

29年度

●テーマ
船の仕事を考えよう！

●用意されるもの

記録用紙、授業資料、メモ用紙、参考書籍など



●体験学習の内容

商船学科を受検するほとんどの生徒は海や船などに関心があると考えられますが、船員になるためには、船への憧れだけでなく、高度な専門科目を学び、技術を身につけていかなければなりません。また、リーダーシップやコミュニケーション能力も必要となります。船に対して、興味や学習意欲を持ち、仲間と協力して課題を乗り越えていく姿勢は、船を動かす時にも欠かせません。そこで、社会で求められる船員像について考えていきます。まず船の仕事について知っていることを話し合い、用紙にまとめます。次に船や船員について授業形式で学習します。また用意された船に関する書籍を使って、さらに詳しく調査をします。その学習内容から、初めに思い描いていた船員像と比べ、改めて船の仕事について何が大切かまとめ、船長や機関長になるために必要な能力について考察します。

●出題のねらい

自分の考えをわかりやすく説明し、仲間理解してもらうことはとても大切です。体験学習では、グループ単位で課題に取り組んでもらい、どのように役割分担するか、また、課題をどのように解決していくか、そのプロセスを重視します。また、課題に取り組む姿勢を通じてリーダーシップや協調性、およびコミュニケーション力を評価します。

●ここがポイント！

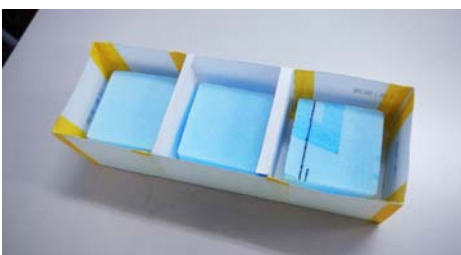
新しいことに興味を持ち積極的に挑戦していく姿勢は、「船乗り」にも「船乗りになる学習」をするうえでも大切です。途中であきらめず、最後までやり遂げられるか、特に、グループ内で協力しながら意見をまとめられるかがポイントです。この選抜で与えられる課題に取り組む際は、各自が一生懸命に考え、互いに意見を交わしあえること、そして、グループ内の誰とでも仲良くできることが重要なのです。

30年度

●テーマ
貨物船を作ろう

●用意されるもの

厚紙、重い貨物（鉄ブロック）、軽い貨物（発泡スチロールブロック）、はさみ、定規など



●体験学習の内容

船を安全に運航させるためには、波や貨物の重さによって船体が壊れてはいけません。そのため、船は丈夫な構造をしています。そこで、厚紙で製作した箱舟を用い、重い貨物（鉄ブロック）の重さによって壊れない丈夫な船を製作する課題にチャレンジします。

まず、船の構造について授業形式で学習します。そして、どのように丈夫な船の構造にするかを、学習した内容をもとに、グループ単位で互いに意見を出し合い協力しながら考え、箱舟を製作し、船の部品を配置します。この箱舟に、重い貨物（鉄ブロック）を載せ船の変形や破壊について調べ、船の構造と船の丈夫さについて学習します。

●出題のねらい

自分で考をわかりやすく説明し、仲間理解してもらうことはとても大切です。体験学習では、課題をグループ単位で取り組み、どのように役割分担をするか、また、課題をどのように解決していくか、その過程を重視します。また、課題に取り組む姿勢を通じてリーダーシップや協調性、およびコミュニケーション力を評価します。

●ここがポイント！

中学生のレベルでも「船乗り」としてできることはたくさんあります。それを体験してもらい、うまくこなせるか、特に、グループ内で協力しながら意見をまとめられるか、多くの作業を分担してできるのか、そして途中であきらめずやりとげることができるかが重要です。

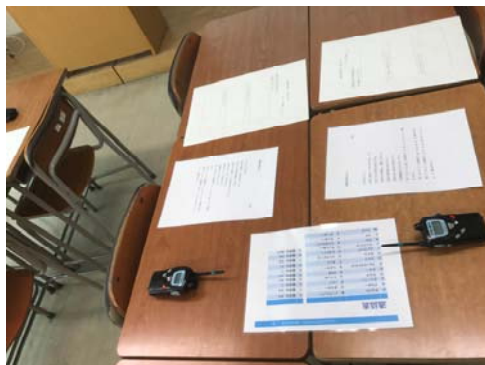
この選抜で与えられる課題は、正解を得ることが目的ではありません。各自が一生懸命考え、互いに意見を交わしあえること、そして、グループ内の誰とでも仲良くできることが重要となります。

31年度

●テーマ
船でのコミュニケーション方法を知ろう！

●用意されるもの

記録用紙、参考資料、無線機など



●体験学習の内容

商船学科を受検するほとんどの生徒は海事分野に関心があると考えられますが、船を安全に運航するためには、専門技術だけでなくコミュニケーション能力も必要となります。そこで、「船員に求められるコミュニケーション」について授業と無線機を使った体験を通して考察します。はじめに、授業形式で一般的なコミュニケーション能力と、船に必要な連絡体制やその内容について学習します。次にグループに分かれ、実際に無線機を使って交信し、無線機を使った時の会話と普通の会話との違いを体感します。何が違ったか、またその違いが起きた理由をまとめ、どのようにすれば会話が伝わりやすくなるか、さらに会話だけでなく、コミュニケーション能力について考察します。

●出題のねらい

自分で考をわかりやすく説明し、仲間理解してもらうことはとても大切です。体験学習では、課題をグループ単位で取り組み、どのように役割分担をするか、また、課題をどのように解決していくか、その過程を重視します。また、課題に取り組む姿勢を通じてリーダーシップや協調性、およびコミュニケーション力を評価します。

●ここがポイント！

あたりまえと普段意識せず生活している中に、船乗りとしても大切なことがたくさんあります。課題点を見つけ、グループで協力しながら考えを出し合い、協力して意見をまとめ改善案を考え出せることが重要です。この選抜では考えた結果に正解不正解を求めません。各自が一生懸命考え、互いに意見を交わしあえること、そして、グループ内の誰とでも仲良くできることが重要となります。